

中小企業経営者アンケート 「大同生命サーベイ」 月次レポート



➤ 調査期間 : 2020年12月1日(火)～12月25日(金)
 ➤ 調査対象 : 全国企業経営者(うち約6割が当社ご契約企業)
 ➤ 調査方法 : 当社営業職員による訪問、電話、郵送、メールでの調査
 ➤ 回答企業数 : 11,100 社
 ➤ 調査内容 : I. 景況感 II. 2020年の振り返りと2021年への期待、情報セキュリティ対策

※北関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県
※南関東：千葉県、東京都、神奈川県
※関西：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

地域 従業員規模	全体 (占率)	北海道	東北	北関東 ※	南関東 ※	北陸・ 甲信越	東海	関西 ※	中国	四国	九州・ 沖縄
5人以下	5,263 (47.4)	175	323	561	1,336	402	473	937	396	167	493
6～10人	2,096 (18.9)	73	151	204	401	193	211	433	158	56	216
11～20人	1,575 (14.2)	61	113	142	314	130	160	335	105	53	162
21人以上	2,043 (18.4)	78	152	168	347	195	232	432	182	74	183
無回答	123 (1.1)	11	4	4	23	11	31	10	14	1	14

※当資料で表示する回答率(%)等は、
小数点第1位(回答企業の属性の占
率および景況感是小数点第2位)を
四捨五入した値を使用しています。

※特に記載がない場合、「無回答」を除
いた集計をしています。

- ・本資料は、「大同生命サーベイ」の調査結果の開示を目的としており、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、「出所:大同生命サーベイ(発行時期)」と明記ください。
- ・本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本資料は、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

一 調査結果のポイント

2020年の経営環境の振り返り

2020年の経営環境を振り返り、どのような1年だったかお聞きしました。〔調査期間:12月1日～12月25日〕

※上記に加え、2021年への期待や情報セキュリティ対策についても調査していますが、結果はP7以降をご覧ください。

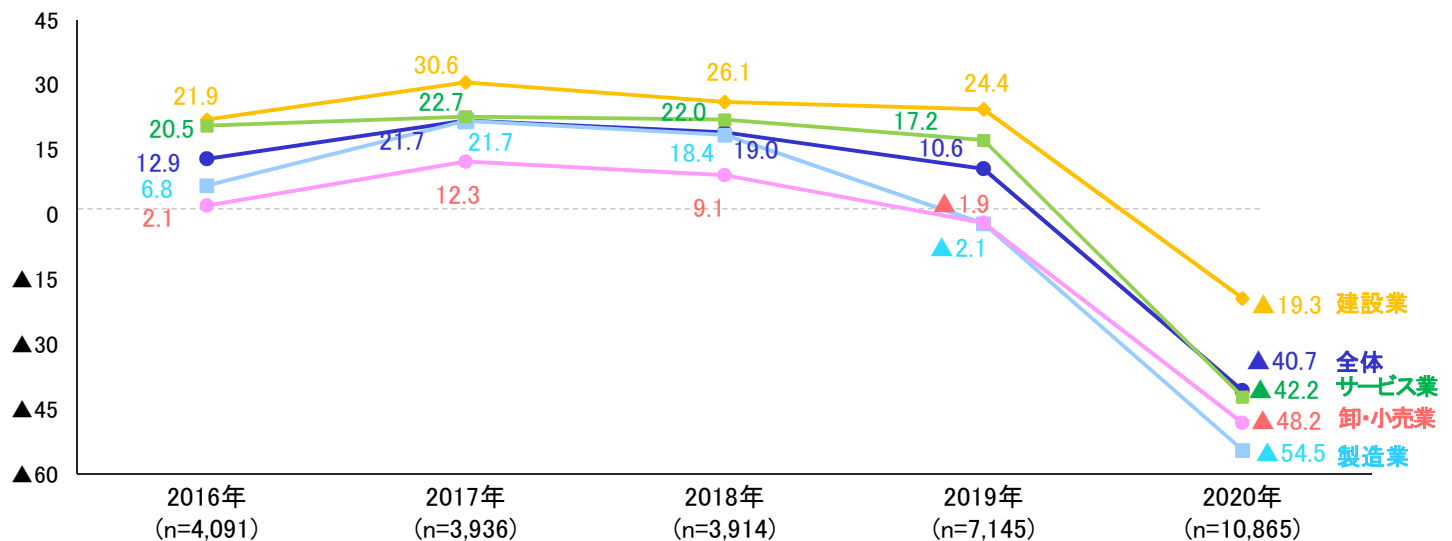
2020年を振り返り、経営環境が「良かった」と回答した企業の割合は13%に留まる一方、「悪かった」は54%となり、調査開始(2016年)以降、初めて「悪かった」が「良かった」を上回る結果となりました。

業種別でみると、「悪かった」は新型コロナウイルス感染拡大による影響の大きい「宿泊・飲食サービス業」(80%)「生活関連サービス業、娯楽業」(68%)で特に多くなりました。

<経営環境 D I (業種別)の推移>

※1年間の経営環境の振り返り(印象)を指数化したもの。

「良い年だった」と回答した割合から「悪い年だった」と回答した割合を差引いた値。



<経営環境(業種別)>	回答 件数	■良かった ■ふつう ■悪かった			2020年 経営環境 D I
全体	10,865	13	33	54	▲40.7
製造業	2,081	10	25	65	▲54.5
建設業	2,264	18	45	37	▲19.3
卸・小売業	2,388	12	28	60	▲48.2
サービス業 ※以下、一部抜粋	3,698	13	33	55	▲42.2
情報通信業	243	16	35	50	▲34.2
運輸業	387	9	28	63	▲54.0
不動産・物品賃貸業	719	13	44	43	▲29.5
宿泊・飲食サービス業	294	8	12	80	▲71.4
医療・福祉業	281	17	32	52	▲34.9
教育・学習支援業	61	26	25	49	▲23.0
生活関連サービス業、娯楽業	314	8	25	68	▲59.9
学術研究、専門・技術 サービス業	335	18	39	43	▲25.7

I. 景況感

(1) 各種DI(業況・売上・利益・資金繰り)

- 「現在の業況」は、「悪い」が42% (前月比+1.0pt)となり、業況DIは▲32.5pt (前月比+0.2pt)と横ばいで推移しました。
- 「将来の見通し」(将来DI)は▲2.8pt (前月比▲1.0pt)と悪化し、「売上高」「利益」「資金繰り」についても、それぞれ悪化しました。

現在の業況

調査月	悪い	普通	良い	(%)	業況DI	前月比
10月 (n=13,787)	43	49	8		▲35.7pt	—
11月 (n=11,243)	41	50	9		▲32.7pt	+3.0pt
12月 (n=10,505)	42	49	9		▲32.5pt	+0.2pt

将来の見通し

調査月	悪くなる	どちらともいえない	良くなる	(%)	将来DI	前月比
10月 (n=13,621)	16	70	14		▲2.3pt	—
11月 (n=11,158)	16	70	14		▲1.8pt	+0.5pt
12月 (n=10,427)	17	69	14		▲2.8pt	▲1.0pt

売上高

調査月	悪化した	変わらない	改善した	(%)
2020.10 (n=13,727)	31	55	14	
2020.11 (n=11,161)	30	56	15	
2020.12 (n=10,446)	31	56	13	

調査月	売上高DI	前月比
2020年10月	▲16.8pt	—
11月	▲14.6pt	+2.2pt
12月	▲17.7pt	▲3.1pt

利益

調査月	悪化した	変わらない	改善した	(%)
2020.10 (n=13,628)	31	57	12	
2020.11 (n=11,093)	29	58	13	
2020.12 (n=10,385)	31	57	12	

調査月	利益DI	前月比
2020年10月	▲18.4pt	—
11月	▲16.0pt	+2.4pt
12月	▲18.4pt	▲2.4pt

資金繰り

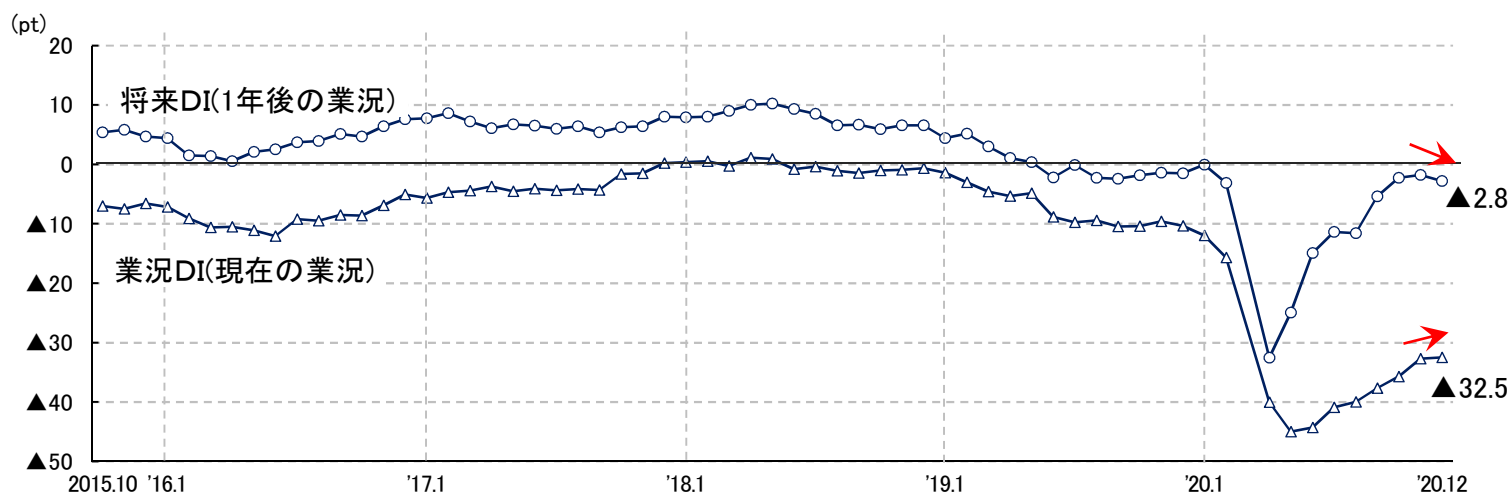
調査月	悪化した	変わらない	改善した	(%)
2020.10 (n=13,597)	17	74	9	
2020.11 (n=11,080)	15	76	9	
2020.12 (n=10,365)	15	76	9	

調査月	資金繰りDI	前月比
2020年10月	▲7.5pt	—
11月	▲6.7pt	+0.8pt
12月	▲7.4pt	▲0.7pt

※ DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転(増加・上昇・過剰)したとする回答割合から、悪化(減少・低下・不足)したとする回答割合を差し引いた値。好転と悪化の割合が等しい場合、0となる。

$$DI = (\text{増加・好転・過剰などの回答割合}) - (\text{減少・悪化・不足などの回答割合})$$

【DIの推移】現在の業況と将来の見通し



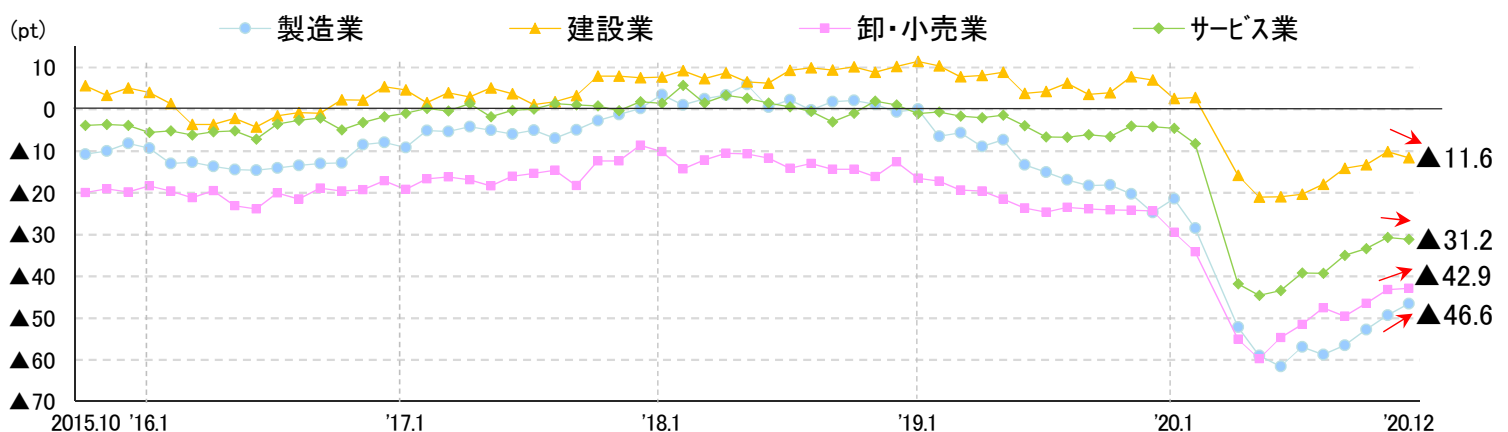
(2)業種別 業況DI

- 業種別の業況DIは、「建設業」が▲11.6ptと最も高くなりました。前月比で最も業況が改善したのは「情報通信業」(▲15.6pt (前月比+10.4pt))となりました。
- 一方、「宿泊・飲食サービス業」が▲68.6ptと最も低く、前月比での悪化も最も大きくなりました。

業種	回答件数	※上段:2020年11月調査 下段: 12月調査			業況DI	前月比
		(%)				
		悪い	普通	良い		
製造業	2,226	56	38	6	▲49.4	—
	2,027	54	38	8	▲46.6	+2.8
建設業	2,388	23	65	12	▲10.2	—
	2,172	25	63	13	▲11.6	▲1.4
卸・小売業	2,457	51	42	8	▲43.2	—
	2,319	51	42	8	▲42.9	+0.3
卸売業	1,130	51	42	7	▲44.2	—
	1,068	48	43	10	▲38.2	+6.0
小売業	1,327	50	42	8	▲42.4	—
	1,251	53	41	6	▲46.9	▲4.5
サービス業	3,734	40	52	9	▲30.7	—
	3,600	40	52	9	▲31.2	▲0.5
情報通信業	242	36	54	10	▲26.0	—
	231	29	58	13	▲15.6	+10.4
運輸業	423	48	45	7	▲40.7	—
	381	48	47	5	▲42.3	▲1.6
不動産・物品賃貸業	679	28	66	7	▲21.1	—
	704	27	65	7	▲19.7	+1.4
宿泊・飲食サービス業	309	68	27	5	▲63.1	—
	287	75	20	6	▲68.6	▲5.5
医療・福祉業	297	29	59	12	▲17.2	—
	276	32	57	11	▲21.0	▲3.8
教育・学習支援業	65	42	51	8	▲33.8	—
	58	36	52	12	▲24.1	+9.7
生活関連サービス業、娯楽業	318	52	41	7	▲45.3	—
	303	54	42	4	▲50.5	▲5.2
学術研究、専門・技術サービス業	320	28	56	15	▲13.1	—
	327	27	59	14	▲13.1	±0.0
その他サービス業	1,081	39	52	10	▲29.2	—
	1,033	40	50	9	▲31.2	▲2.0

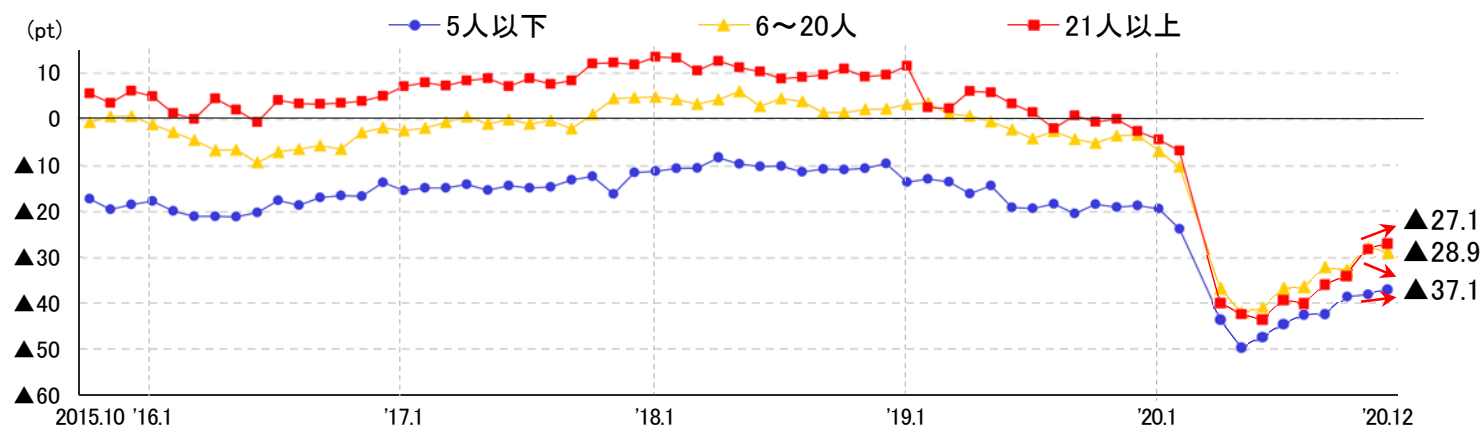
「悪い」全国平均(12月調査) 42pt 「良い」全国平均(12月調査) 9pt

【DIの推移】業種別の動向



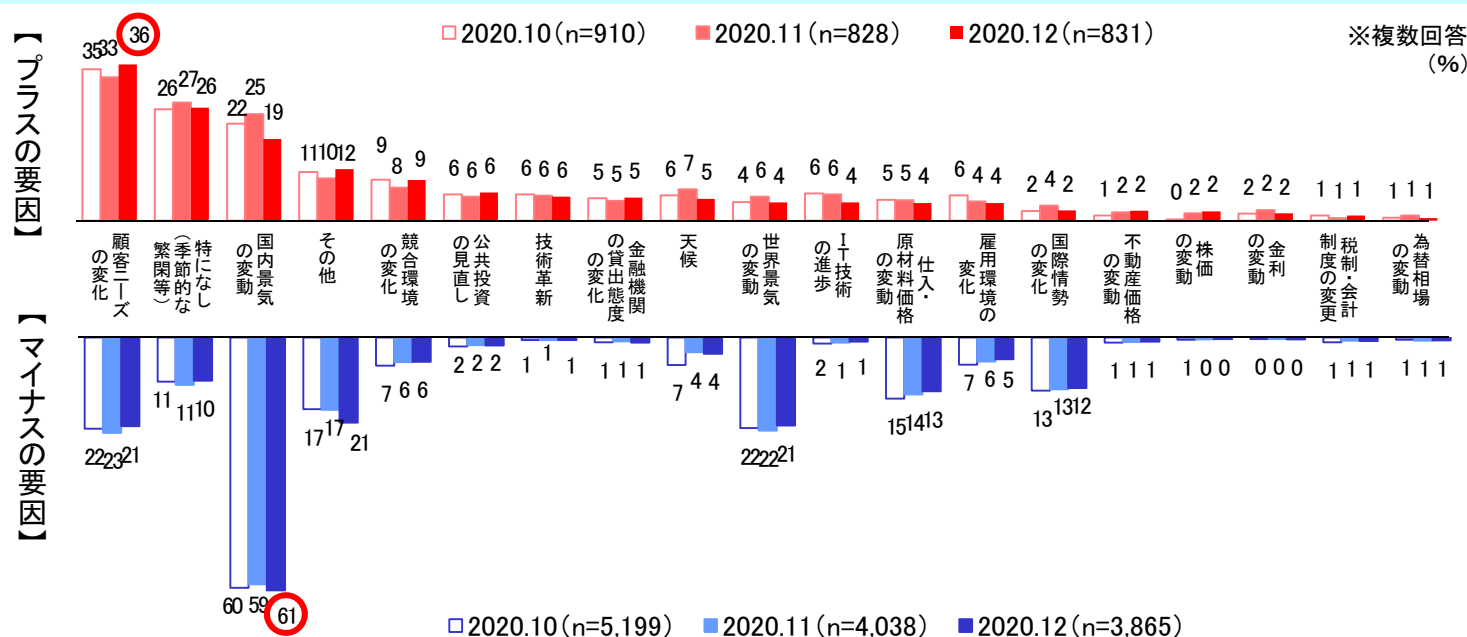
(3) 従業員規模別 業況DI

- 従業員規模別の業況DIは、「5人以下」「21人以上」で前月より改善した一方で、「6～20人」では悪化しました。



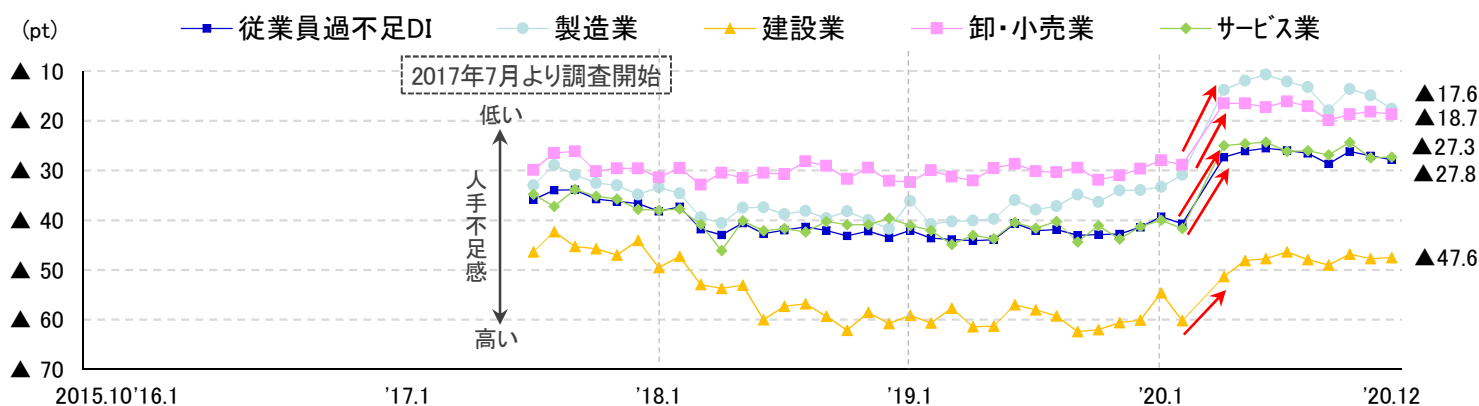
(4) 景況感に影響を与えた要因 [前月比]

- 景況感が「良い」と回答した企業のプラスの要因は、「顧客ニーズの変化」が36%(前月比+3pt)と最も多くなりました。
- 景況感が「悪い」と回答した企業のマイナスの要因は、「国内景気の変動」が61%(前月比+2pt)と最も多く、新型コロナウイルス感染拡大の社会経済活動への影響がうかがえます。



(5) 従業員過不足DI

- 従業員過不足DIは、全体で▲27.8pt(前月比▲0.7pt)となりました。全業種で2020年4月以降、それ以前に比べ、人手不足感が低い状況が続いています。

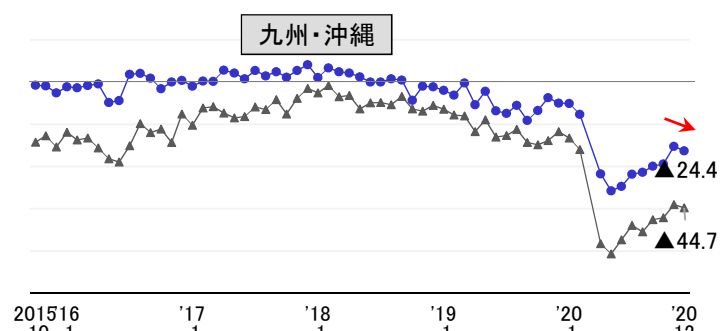
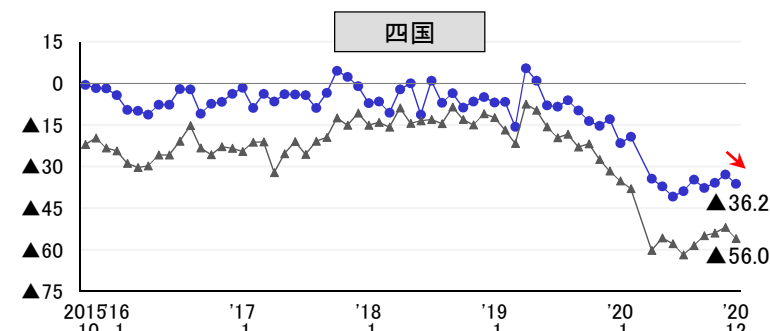
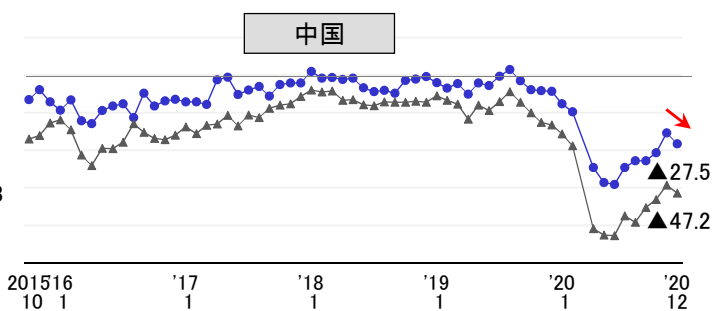
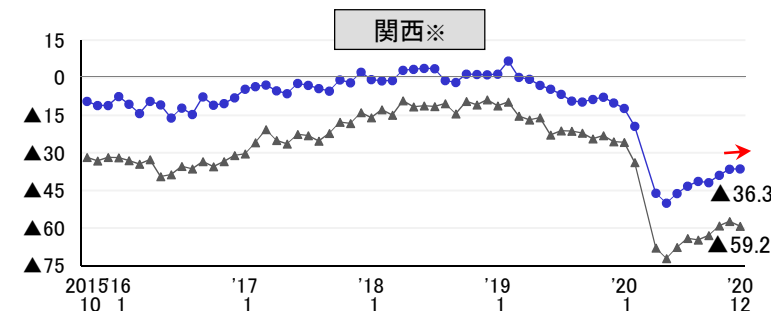
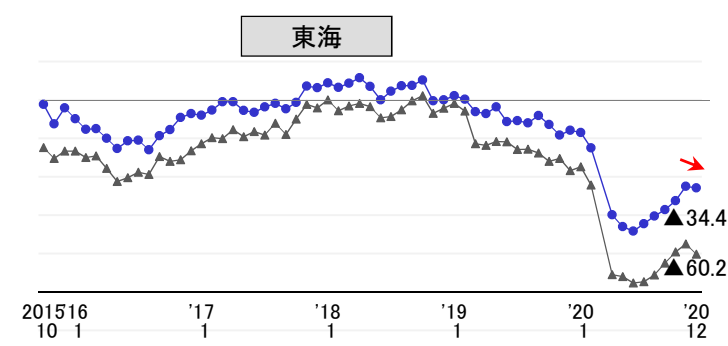
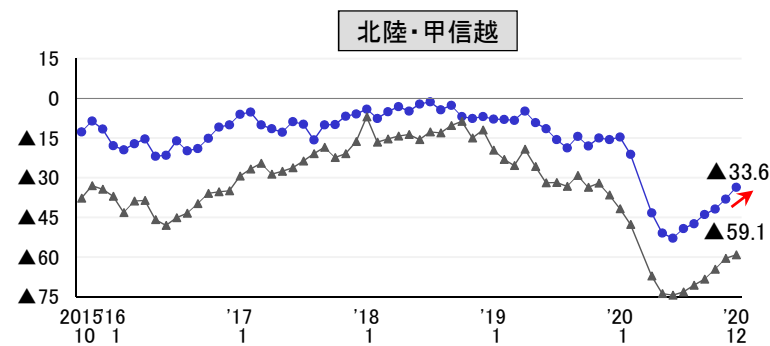
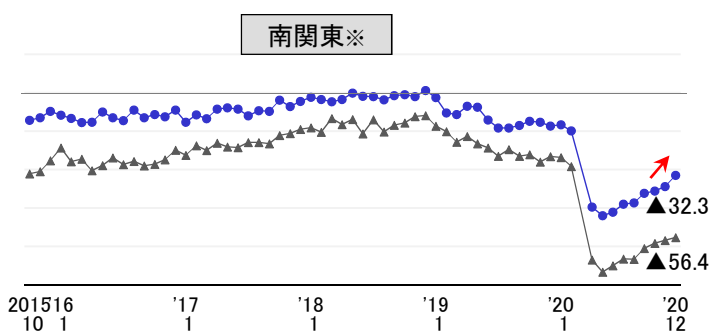
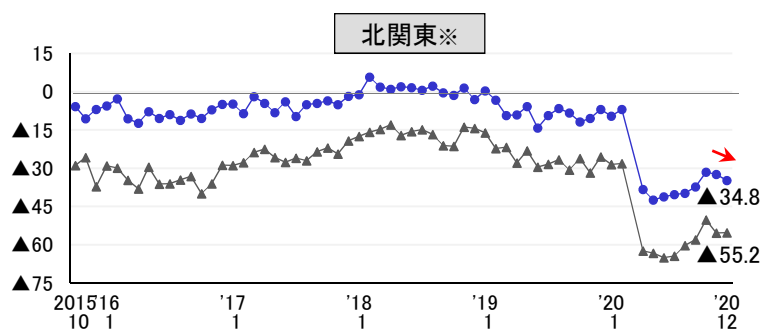
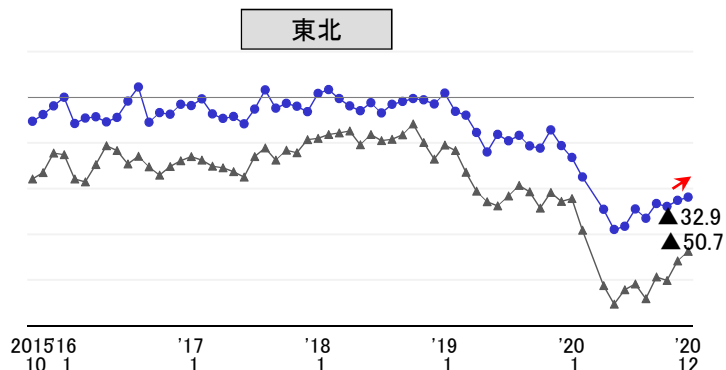
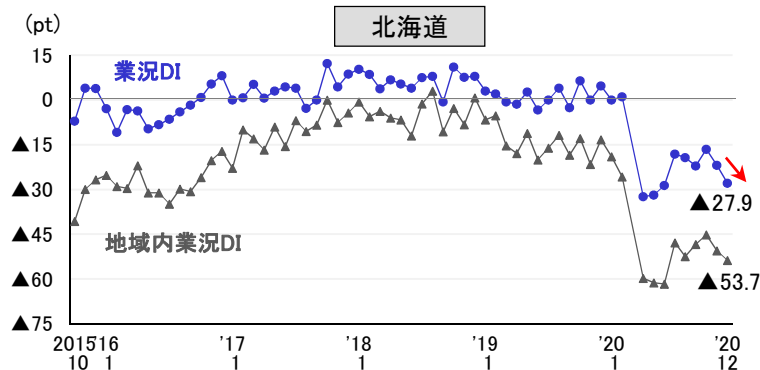


(6)地域別 業況DI

- ・「業況DI」は、「北陸・甲信越」など4地域で改善した一方で、その他の6地域で悪化しました。
- ・「地域内業況DI(※)」は、全国平均で▲55.1pt(前月比▲0.8pt)となりました。

(pt)						
<全国平均>	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況DI	▲40.9	▲40.0	▲37.7	▲35.7	▲32.7	▲32.5
地域内業況DI(※)	▲63.0	▲62.9	▲58.7	▲56.1	▲54.3	▲55.1

(※)回答企業の本社が属する地域内全体の景況感を数値化したもの。
地域別の回答企業数には格差があることから、これを補完するため、「業況DI(自社の業況)」とあわせて表示しています。



※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県

(南関東)千葉県、東京都、神奈川県

(関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

Ⅱ. 2020年の振り返りと2021年への期待、情報セキュリティ対策

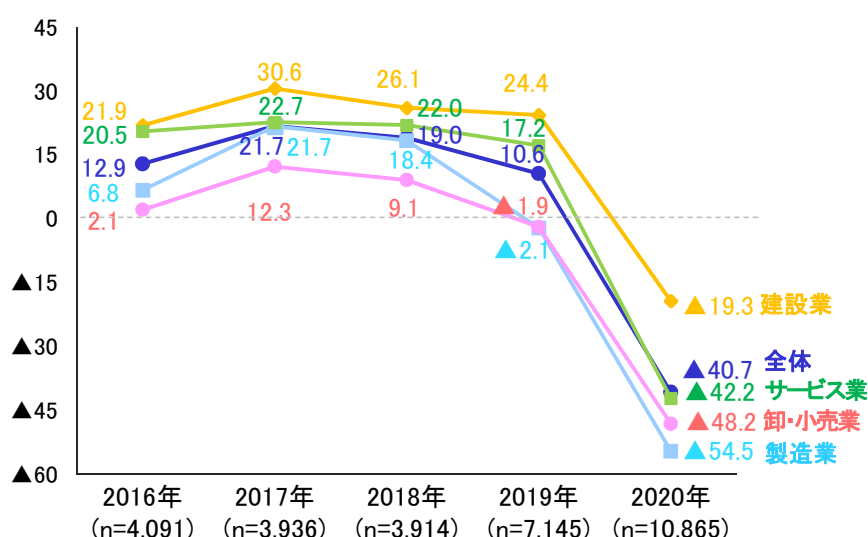
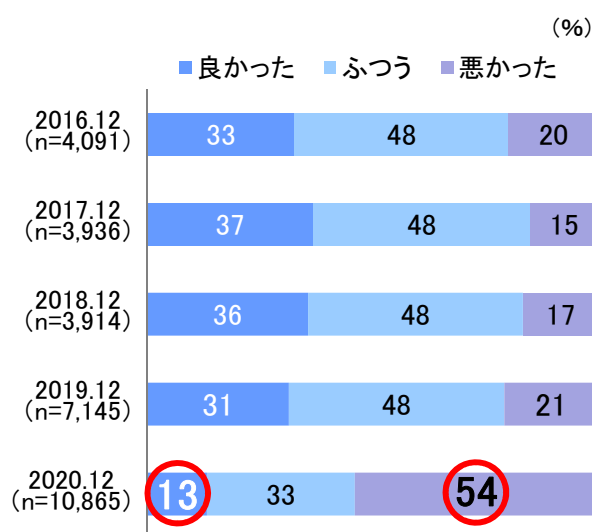
Q1 2020年の経営環境はいかがでしたか

- 2020年を振り返り、経営環境が「良かった」と回答した企業の割合は13%、「悪かった」は54%と、前4カ年の調査からいずれも大幅に悪化し、調査開始(2016年)以降、初めて「悪かった」が「良かった」を上回る結果となりました。
- 業種別でみると、「悪かった」は新型コロナウイルス感染拡大による影響の大きい「宿泊・飲食サービス業」(80%)「生活関連サービス業、娯楽業」(68%)で特に多くなりました。

2020年の経営環境の振り返り

<経営環境D I ※(業種別)の推移>

※1年間の経営環境の振り返り(印象)を指数化したもの。
「良い年だった」と回答した割合から「悪い年だった」と回答した割合を差引いた値。



<業種別>	回答件数	良かった	ふつう	悪かった	2020年経営環境D I
製造業	2,081	10	25	65	▲54.5
建設業	2,264	18	45	37	▲19.3
卸・小売業	2,388	12	28	60	▲48.2
サービス業 ※以下、一部抜粋	3,698	13	33	55	▲42.2
情報通信業	243	16	35	50	▲34.2
運輸業	387	9	28	63	▲54.0
不動産・物品賃貸業	719	13	44	43	▲29.5
宿泊・飲食サービス業	294	8	12	80	▲71.4
医療・福祉業	281	17	32	52	▲34.9
教育・学習支援業	61	26	25	49	▲23.0
生活関連サービス業、娯楽業	314	8	25	68	▲59.9
学術研究、専門・技術 サービス業	335	18	39	43	▲25.7

良かった／悪かった 理由（複数回答）

	良かった理由（n=1,349）		悪かった理由（n=5,518）	
	件数	割合	件数	割合
1位	売上が拡大	375件 28%	売上が縮小	3,038件 55%
2位	利益が拡大	371件 28%	利益が縮小	1,424件 26%
3位	従業員が成長した	111件 8%	借入金が増加	256件 5%
4位	新規顧客を獲得できた	83件 6%	従業員が減少	157件 3%
5位	設備投資ができた	74件 5%	新規顧客を獲得できなかった	145件 3%

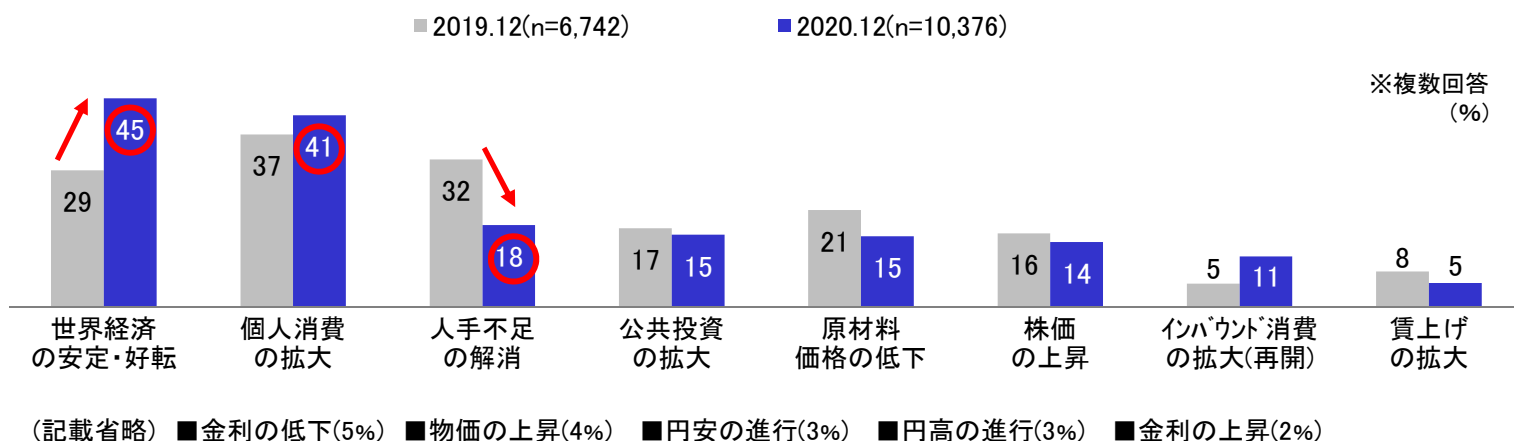
経営者の声

2020年の経営環境の振り返り（自由回答）

- 展示会・イベントの中止により、利益が減少（北陸・甲信越／建設業）
- コロナ禍の影響により、巣ごもり消費の拡大で食料品や生活必需品の売上が増加（南関東／卸売業）
- オフィス需要に変化があり、賃貸物件の空室が増え、利益が減少（南関東／不動産・物品賃貸業）
- コロナ禍で売上は減少したが、働き方の変更や新規顧客の開拓など、会社として良い刺激になった（関西／建設業）
- SNSを利用して新規取引先の獲得ができた（関西／学術研究、専門・技術サービス業）
- 新しい生活様式に合わせたサービスを開発し、新規顧客を獲得できた（北関東／建設業）
- コロナ禍で仕事ができない時間に後継者の教育（研修や資格取得等）に時間をかけることができた（関西／建設業）
- コロナ対策による補助金で設備投資を実施（中国／運輸業）

Q2 2021年の経済環境に期待することは何ですか

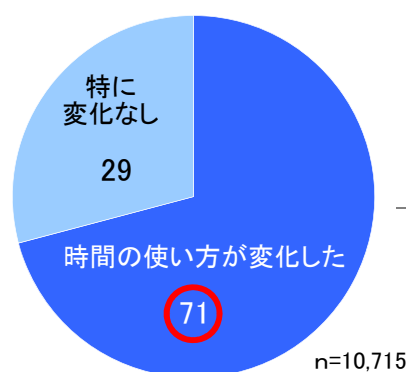
- 「世界経済の安定・好転」が45%と最も多く、次いで「個人消費の拡大」が41%となりました。
- 2019年12月調査と比較すると、「世界経済の安定・好転」が増加した一方で、「人手不足の解消」が減少しており、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済への影響がうかがえます。



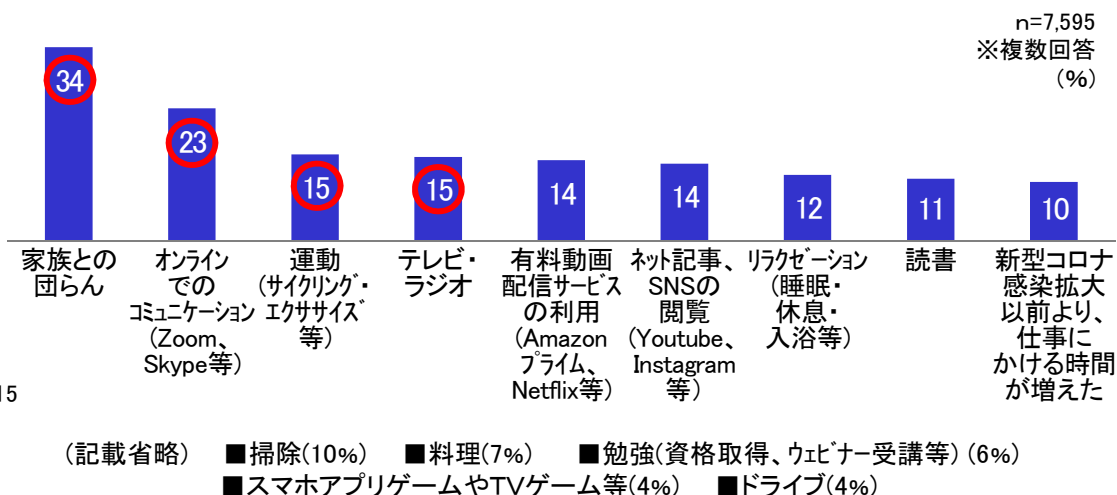
Q3 コロナ禍において時間の使い方に変化はありましたか

- ・ コロナ禍において「時間の使い方が変化した」は71%となりました。
- ・ 費やす時間が増えたことは、「家族との団らん」が34%と最も多く、次いで「オンラインでのコミュニケーション」が23%、「運動」「テレビ・ラジオ」が15%となりました。新しい生活様式を实践するなかでの変化がうかがえます。

時間の使い方の変化有無



費やす時間が増えたこと



Q4 2020年に読んだ最も印象に残っている本は何ですか

- ・ 2020年に読んだ最も印象に残っている本は、「鬼滅の刃」が第1位、「FACTFULNESS(ファクトフルネス)」が第2位、「嫌われる勇気」が第3位となりました。

(敬称略／同順位は五十音順)

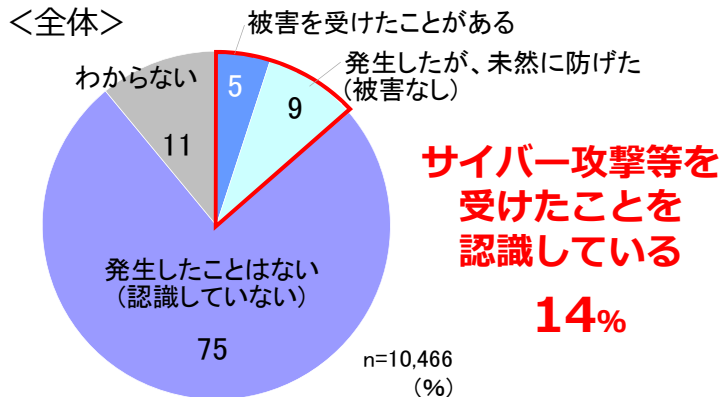
n=2,210 ※複数回答

1位	鬼滅の刃 仲間たちと共に鬼の脅威から人々を守る戦いを描く漫画	(吾峠 呼世晴)	71票
2位	FACTFULNESS(ファクトフルネス) データを基に世界を正しく見る方法について解説	(ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド)	32
3位	嫌われる勇気 -自己啓発の源流「アドラー」の教え- アルフレッド・アドラーの「アドラー心理学」を解説した書籍	(岸見 一郎／古賀 史健)	12
4	アルルカンと道化師	(池井戸 潤)	10
〃	7つの習慣	(スティーブン・R・コヴィー)	〃
〃	日本国紀	(百田 尚樹)	〃
〃	熱源	(川越 宗一)	〃
8	海賊とよばれた男	(百田 尚樹)	9
9	生き方	(稲盛 和夫)	8
〃	大河の一滴	(五木 寛之)	〃
〃	罪の声	(塩田 武士)	〃
〃	反日種族主義	(李 栄薫)	〃
〃	論語と算盤	(渋沢 栄一)	〃

【その他】 ペスト(アルベール・カミュ) / 少年と犬(馳 星周) / 半沢直樹(池井戸 潤) / 蜜蜂と遠雷(恩田 陸) / ライオンのおやつ(小川 糸) / サピエンス全史(ユヴァル・ノア・ハラリ) / ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー(レイディ みかこ) など

Q5 サイバー攻撃や社内関係者による情報漏えい等を経験したことはありますか

- 「サイバー攻撃等を受けたことを認識している」は14%となりました。
- 従業員規模別にみると、規模に関係なく、サイバー攻撃等の対象になることがうかがえます。



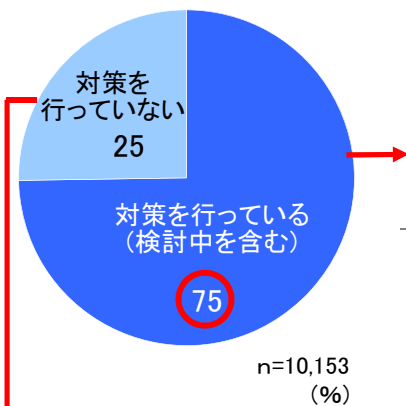
＜従業員規模別＞

	回答件数	発生したが、未然に防げた(被害なし)	サイバー攻撃等を受けたことを認識している	発生したことはない(認識していない)
5人以下	4,956	5	7	76
6～10人	1,973	5	9	75
11～20人	1,500	5	8	77
21人以上	1,950	7	13	72

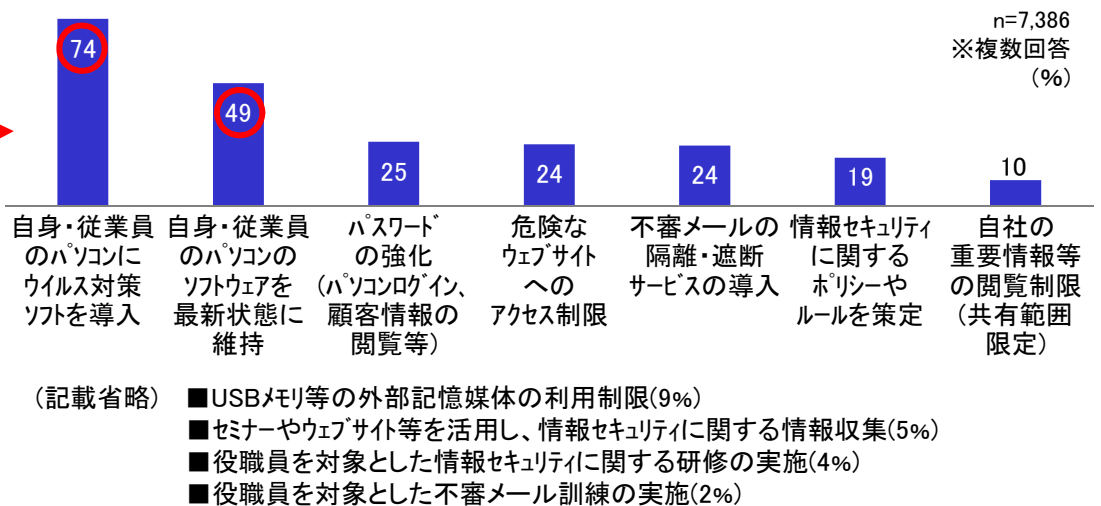
Q6 情報セキュリティ対策を実施していますか

- 情報セキュリティ対策について、「対策を行っている(検討中を含む)」は75%となりました。
- 対策の内容は、「ウイルス対策ソフトを導入」が74%と最も多く、次いで「パソコンのソフトウェアを最新状態に維持」が49%となりました。
- 対策を行っていない理由は、「他の経営課題よりも優先度が低い」が25%と最も多く、次いで「サイバー攻撃を受けた場合でも被害は少ないと想定している」が24%となりました。

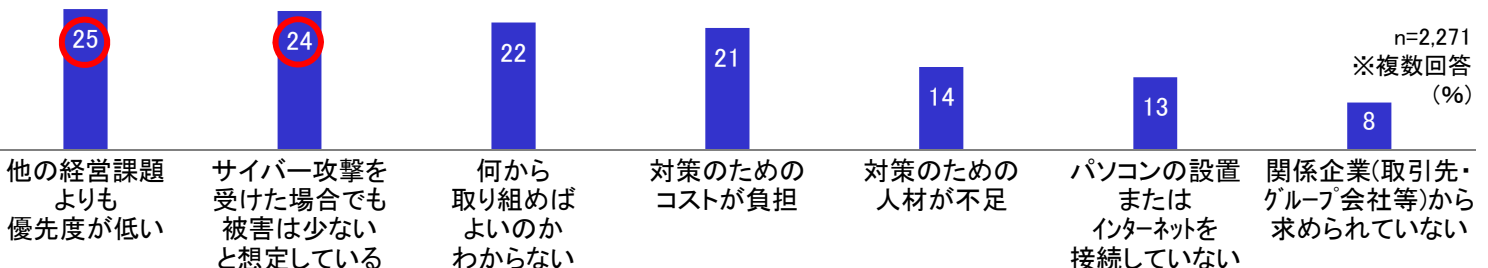
情報セキュリティ対策有無



情報セキュリティ対策の内容



情報セキュリティ対策を行っていない理由



参考情報

■中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン(独立行政法人情報処理推進機構HP)

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/guideline/>

※情報セキュリティ対策に取り組む際の、「経営者が認識し実施すべき指針」「社内において対策を実践する際の手順や手法」が公開されています。

【DIの推移 データ一覧】

＜全体＞ (pt)

	2017年												2018年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲5.7	▲4.7	▲4.5	▲3.7	▲4.5	▲4.1	▲4.4	▲4.1	▲4.3	▲1.6	▲1.5	0.2	0.4	0.5	▲0.3	1.1	0.9	▲0.8	▲0.4	▲1.1	▲1.5	▲1.0	▲0.9	▲0.6
将来	7.7	8.6	7.2	6.1	6.7	6.5	6.0	6.4	5.4	6.2	6.4	8.0	7.9	8.0	9.0	10.0	10.2	9.3	8.5	6.6	6.7	5.9	6.5	6.6
従業員過不足	-	-	-	-	-	-	▲35.9	▲34.0	▲33.9	▲35.8	▲36.2	▲36.7	▲38.2	▲37.3	▲41.8	▲43.0	▲40.6	▲42.7	▲42.0	▲41.4	▲42.1	▲43.2	▲42.2	▲43.5

	2019年												2020年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲1.4	▲3.0	▲4.6	▲5.4	▲4.9	▲8.9	▲9.8	▲9.5	▲10.5	▲10.4	▲9.6	▲10.4	▲12.0	▲15.7	-	▲40.1	▲45.0	▲44.3	▲40.9	▲40.0	▲37.7	▲35.7	▲32.7	▲32.5
将来	4.4	5.2	3.0	1.1	0.4	▲2.2	▲0.1	▲2.3	▲2.4	▲1.9	▲1.4	▲1.5	▲0.1	▲3.1	-	▲32.5	▲24.9	▲14.9	▲11.4	▲11.6	▲5.4	▲2.3	▲1.8	▲2.8
従業員過不足	▲42.1	▲43.6	▲43.9	▲44.2	▲44.0	▲40.7	▲42.1	▲41.9	▲43.1	▲42.9	▲42.8	▲41.4	▲39.3	▲40.7	-	▲27.3	▲26.1	▲25.6	▲26.0	▲26.5	▲28.7	▲26.2	▲27.1	▲27.8

※2020年3月は新型コロナウイルスの影響を踏まえ調査を中止。

＜業種別(直近6ヵ月)＞ (pt)

	製造業						建設業						卸・小売業						サービス業					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲57.0	▲58.8	▲56.6	▲52.8	▲49.4	▲46.6	▲20.3	▲18.0	▲14.2	▲13.3	▲10.2	▲11.6	▲51.6	▲47.6	▲49.6	▲46.5	▲43.2	▲42.9	▲39.2	▲39.3	▲35.0	▲33.4	▲30.7	▲31.2
従業員過不足	▲12.2	▲13.3	▲17.9	▲13.7	▲14.9	▲17.6	▲46.4	▲47.9	▲49.0	▲46.8	▲47.8	▲47.6	▲16.2	▲17.1	▲20.0	▲18.7	▲18.2	▲18.7	▲26.2	▲26.0	▲26.9	▲24.4	▲27.5	▲27.3

＜従業員規模別(直近6ヵ月)＞ (pt)

	5人以下						6～20人						21人以上					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲44.5	▲42.6	▲42.3	▲38.4	▲37.9	▲37.1	▲36.9	▲36.5	▲32.2	▲33.0	▲27.8	▲28.9	▲39.3	▲40.1	▲36.0	▲34.1	▲28.2	▲27.1
従業員過不足	▲22.6	▲22.7	▲22.9	▲21.2	▲21.9	▲21.9	▲30.2	▲30.9	▲33.8	▲30.2	▲32.1	▲32.5	▲25.9	▲27.5	▲33.1	▲30.6	▲31.0	▲34.8

＜地域別(直近6ヵ月)＞ (pt)

	北海道						東北						北関東						南関東						北陸・甲信越					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲18.1	▲19.3	▲22.1	▲16.5	▲21.9	▲27.9	▲36.7	▲39.8	▲35.0	▲35.9	▲33.9	▲32.9	▲40.4	▲39.9	▲37.4	▲31.5	▲32.5	▲34.8	▲43.4	▲42.9	▲39.2	▲38.4	▲36.6	▲32.3	▲49.3	▲47.4	▲44.0	▲41.9	▲38.1	▲33.6
地域内業況	▲47.9	▲52.5	▲48.4	▲45.1	▲50.6	▲53.7	▲61.4	▲66.2	▲59.0	▲60.2	▲53.8	▲50.7	▲64.4	▲60.2	▲58.0	▲50.3	▲55.3	▲55.2	▲64.9	▲65.0	▲60.7	▲58.7	▲57.5	▲56.4	▲73.2	▲70.7	▲68.4	▲64.7	▲60.5	▲59.1
従業員過不足	▲36.7	▲43.6	▲38.1	▲37.3	▲33.3	▲32.9	▲30.5	▲33.0	▲32.7	▲32.3	▲33.7	▲34.7	▲22.9	▲21.7	▲25.2	▲26.0	▲25.2	▲24.8	▲26.2	▲25.6	▲26.3	▲21.6	▲22.3	▲22.9	▲21.0	▲23.4	▲24.8	▲22.2	▲23.5	▲25.1

	東海						関西						中国						四国						九州・沖縄					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業況	▲48.4	▲45.3	▲42.9	▲39.4	▲33.7	▲34.4	▲43.2	▲41.4	▲41.9	▲38.9	▲36.4	▲36.3	▲36.9	▲34.3	▲34.3	▲31.1	▲23.1	▲27.5	▲38.9	▲34.7	▲37.7	▲35.8	▲32.8	▲36.2	▲32.8	▲32.0	▲29.9	▲29.1	▲22.8	▲24.4
地域内業況	▲71.0	▲68.4	▲63.7	▲59.3	▲56.3	▲60.2	▲64.1	▲64.7	▲62.9	▲59.1	▲57.3	▲59.2	▲56.2	▲58.8	▲53.0	▲49.8	▲44.0	▲47.2	▲61.8	▲58.5	▲54.9	▲54.0	▲52.0	▲56.0	▲50.9	▲53.2	▲48.9	▲48.1	▲43.5	▲44.7
従業員過不足	▲19.5	▲18.3	▲25.5	▲22.3	▲24.7	▲25.7	▲22.8	▲24.0	▲24.9	▲23.4	▲26.4	▲28.2	▲31.3	▲32.6	▲32.2	▲30.2	▲34.8	▲34.4	▲31.8	▲31.7	▲34.0	▲35.7	▲29.1	▲28.0	▲33.8	▲34.1	▲36.6	▲35.8	▲33.7	▲34.2

※DIとは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、好転(増加・上昇・過剰)したとする回答割合から、悪化(減少・低下・不足)したとする回答割合を差し引いた値です。好転と悪化の割合が等しい場合、0となります。

DI = (増加・好転・過剰などの回答割合) - (減少・悪化・不足などの回答割合)



本社(大阪) 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
電話 06-6447-6111(代表)
(東京) 〒103-6031 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
電話 03-3272-6777(代表)
<https://www.daido-life.co.jp/>